

第 2 2 号
2014年(平成26年)
5月 7日
水曜日

『会報工房』とは？
創像工房 in front of. は演劇、お笑い、映画などを創作する慶應義塾大学の公認団体です。『会報工房』では創像工房 in front of. の活動報告と、公演では見ることでできない工房員の一面をお店します。公演案内と共にお楽しみください。

本号の編集長＝御厨侑祐
ご意見 sozo_kaihou@hotmail.co.jp

会報工房

オリエン報告☆

2014年度が始まり、はや一か月が経ちました！
新たな工房員との出会いのため、今年も行われました
オリエンテーションの結果を報告させていただきますっ！

新入生、47人！ 今年のオリエンはこうでした！

寒さもようやく衰えはじめましたが、皆様ますますご健勝のほどお喜び
申し上げます。2014年度オリエン幹事の、理工学部生命情報工学科二
年の鶴田哲実と申します。
今年度のオリエンは、オリエン公演を筆頭に新入生に創像工房をちゃんと
知ってもらうことに成功を収めたと実感しております。同期は勿論のこと、
先輩方のお力添えのおかげで無事終了いたしました。本当にありがとうござ
いしました。これから、一年生たちが創像を楽しんでいってもらえることを
祈って、挨拶とさせていただきます。



(↑ 今年のオリエンチランは鳥モチーフ。
コラーージュと赤いカーテンが印象的です。)

新歓パーティ&イベント

新歓パーティとして、合Cでコントをやったり、エチユードをやったり新人
公演のメイキングを流したりして、新入生に創像の雰囲気を与えました。
今年は突貫ではありましたが、かっこいいオープニングアクトもやりました。
良いパーティだったと思います。協力してくださった方々本当にありがとう
ございました。

また、イベントとして、元住吉の生涯学習プラザにて、親睦のためのクイ
ズ大会をやりました。大会の後には去年の新人公演の映像を流して、上級生
は懐かしがったり悶絶したりしていました。後輩との距離が縮まったように
感じました。

創像の新歓といえはやはり「オリエン公演」！ 今年は2つの舞台と1つの映像の3作品でした

◎舞台作品「或る鬼の嘶」

或る鬼の嘶はざっくり言うと桃太郎の話です。
頭の中のぼやっとしたイメージがどこどこ目に見えるものになっていく様にワク
ワクドキドキしました。みんなで大きな生き物を育ててみたいで、終わった今でも
愛着がものすごくあります。きもいでしょうか。
なんと言っても、みなさま様々という感じです。ほんとうにありがとうございまし
た。おつかれさまでした。
(脚本・演出 荒木)

◎舞台作品「イスコ」

ありがとうございました。
(脚本・演出 熊倉)

◎映像作品「yellow」

女の子同士の嫉妬の話です。独白映画を作ってみたかったんです。
女同士の嫉妬と男同士の嫉妬とは大変性質が違ふということを学び、万人が同じ
感情を抱く出来事はあるのだろうかと考えました。
とても楽しかったです。参加してくださった方、観に来てくださった方、本当にあり
がとうございました。幸甚者です。
(脚本・監督 かつりか)

新たな創像工房に、ご期待ください！ (2014年度新人公演詳細については裏面へ！)

ふりかえる2013年度☆

数多くの企画が出された2013年度を、終了企画報告も兼ね、
ここで年表形式で振り返ってみましたっ！

6月

新人公演2013
「WARRIORS 唄い続ける侍ロマン」
企画責任：藤本岳宏
アトリエ合Cにて

9月

第25回池袋演劇祭参加作品
「偽装結婚式」
企画責任：中村允俊
シアター風姿花伝にて
創像工房 in front of. が贈るバックステージコメディー！

10月

神無月公演
「人身御供」
企画責任：佐藤有史朗
アトリエ合Cにて
不穏な事故死とともに、指針を失った生徒たちは蝕まれていく。
ちよつとあの皆既日蝕のように。

10月演劇×映像公演
「スペシャル」
企画責任：鈴木田祥吾
アトリエ合Cにて

—— そういう奴こそ、スペシャルなんだ。

10月コメディ公演
「日本事変」
企画責任：小野翼
アトリエ合Cにて

東京サミットまでの48時間、11人の人間がぶつかり合う魂の物語。

11月

「何卒」
企画責任：小屋迫優士
アトリエ合Cにて

12月

12月映画公演
「ソフミ」
企画責任：伊藤俊輝
アトリエ合C 北沢タウンホールにて
僕に聞こえてくるのは——
12月コントショー
「+αプラスアルファ」
企画責任：永滝雄治
アトリエ合Cにて

2月

2月映画祭
「FILM FESTIVAL III」
企画責任：中湖啓太
アトリエ合Cにて

今しか撮れないものを——

「FILM FESTIVAL III」が終了してから早いもので約3ヶ月経ちました。
参加者の方、観に来てくださった方、協力していただいた方など、改めてありがとうござ
いました！作品の幅も広くなり、作品のクオリティも前回よりあがったように思いい、着々と進
歩できると実感できたのと同時に、まだまだやれることがあるんだなと思わせる企画で
した。どういう形であれ、映画分野が脈々と進歩していくことを願っています。
最後に、この場を借りてこの企画の影の立役者であるコタツ提供の林くんに改めて感謝と謝
罪を申し上げたいと思います。ありがとう返しに行かなくてごめん。

3月

3月卒業公演
「この夜が明ける前に」
企画責任：樋谷英孝
アトリエ合Cにて
ここにあるものが全部嘘だとしても
俺たちの中では本物なんだ。

「ありがとうございました。(制作)」

3月公演
「超戦隊チャレンジャー」

企画責任：比企能博
アトリエ合Cにて

できっこないをやらなくちゃ
「楽しかったです。以上、後ろを振り返らない男、比企能博でした。(企画責任)」

今後のみどころ☆

一年間で10本以上の企画が出る創像工房では、それぞれの企画のみどころもまさに「十企画十色」。今回は、間もなく公開となる5月企画「現れた家庭」と、今年度の「新人公演」をCHECKですっ！

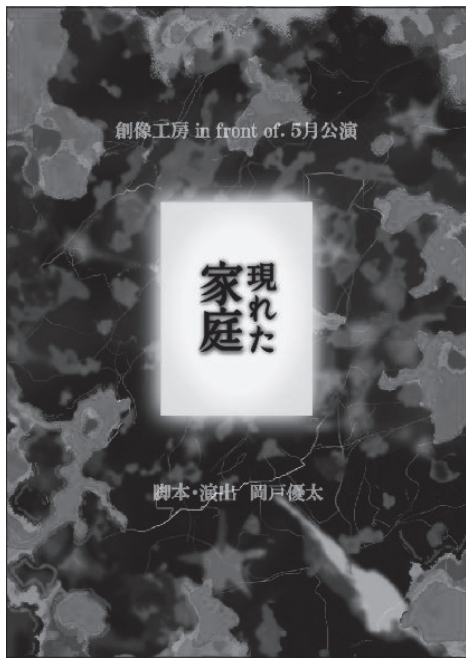
その家庭は、おこったのではなく現れた『After a ー』『反芻癖』の監督が贈る、初の舞台作品！

鋭いテーマと独特の台詞回しが印象的な岡戸作品。今回の作品では、彼の趣味であるロシア文学に影響を受けたとか。そんな岡戸さんに、本誌特派員が直接、舞台の魅力を訊いてみました！

「現れた家庭」は、臨場感を存分に使える演劇という媒体だからこそ許される、ハイカローなシナリオと台詞回しにしたつもりなのでそこを楽しんでもらえたらなと思います。

台詞は「応こたわって書いてます。話の進行上必要なものとしてではなく、その登場人物の発する言葉になるように心がけました。苦勞した点としてはとても複雑なストーリーにしてみましたので、自分でその整合をとることに中々心をくだきました。そしてそれをちゃんとお客さんにわかりやすいように整えることも大変でしたね。

でも、参加者のお力添えにより、当初よりかくだんに良いものになったと思うので、なるべくたくさんの人に見てもらいたいです。(脚本・演出 岡戸)



(本企画の顔ともいうべきチラシがこちら。チラシやギミックのついたクリアファイルを配るなど、宣伝活動にはとても力が入っている模様。また、現在塾生会館前には立て看板が設置されています。日吉にお立ち寄りの際は、是非ご覧ください。)

FOLLOW @Katei_sozo

作品概要

5月公演「現れた家庭」

2014年5月15日(木)～5月18日(日)

慶應義塾大学日吉キャンパス塾生会館地下アトリエ合Cにて



↑予約はこちらから

遂に脚本決定か？

新たな創像工房が、今始まる！

年に一度の新人公演は、数多くの企画を持つ工房員にとっても大切な存在。本誌では現在公開可能な情報を一挙大公開です！

新人公演2014

演出 永田一行

タイトル近日公開！

2014年6月25日(水)～29日(日)

慶應義塾大学日吉キャンパス塾生会館地下アトリエ合Cにて

Tel 09032217799(制作)

Twitter @sozo_kobo

今後の更新にご期待ください！

創像工房、遂にSAF長編進出！今年も夏は演劇がアツい！

去年も創像工房関係団体が2団体、短編公演を行ったシアターグリーン学生芸術祭(SAF)。今年はなんと長編での参加が決まったようです！

シアターグリーン学生芸術祭Voi・8参加団体がけつこ角砂糖。

「ガチ秘密基地リスト」デルタウロスの野望」脚本・演出 牧凌平

2014年8月29日(金)～31日(日)

シアターグリーンBASE THEATERにて

詳細はツイッターにて！

@kakumakisugar

代表便り

段々陽射しが強くなつて来ましたね。新歓も無事に終わり約50人の新人が入会してくれました！これからが楽しみです！現在5月企画『現れた家庭』と新人公演が絶賛進行中です！

(代表 永田一行)



新人公演稽古の様子(↑)と、顔合わせの様子(↓)。どちらも皆楽しそうです。

